

2025 年 10 月 吉日

鋤田 正義 写真展 "SUKITA : Photographs from Early Fashion to Rock Icons"

2025 年 10 月 29 日 (水) ～ 2026 年 2 月 15 日 (日)

水曜～日曜、1:00PM ～ 6:00PM

月曜火曜は休廊、年末年始休廊：12 月 24 日～1 月 9 日、入場無料

ブリッツ・ギャラリー

〒153-0064 東京都目黒区下目黒 6-20-29 TEL 03-3714-0552

JR 目黒駅からバス、目黒消防署下車徒歩 3 分 / 東急東横線学芸大学下車徒歩 15 分

ブリッツ・ギャラリーは、鋤田正義 (1938-) の貴重な初期ファッション作品とロック・ミュージシャンのポートレートを紹介する「SUKITA : Photographs from Early Fashion to Rock Icons」展を開催いたします。展示作品の多くは貴重な未発表作品となります。

鋤田正義 (1938-) は、70 年代のはじめに時代の最先端の若者文化や音楽に惹かれニューヨークやロンドンに撮影に出かけます。1972 年夏に T・レックスのマーク・ボランやデヴィッド・ボウイを撮影。その後、特にボウイと深い信頼関係を構築し、彼を約 40 年以上も撮り続けました。鋤田は、それらのロック・アイコンたちの楽曲とともに、ビジュアル面から活気ある 20 世紀という時代の気分と雰囲気づくりに関わってきました。いまでは彼のポートレート写真のアート性は特に海外で高く評価されており、2021 年には彼のキャリアを回顧するフォトブック「SUKITA : ETERNITY」(ACC Art Books / 玄光社) が世界同時出版されています。また 2010 年代からは欧米各国で数多くの美術館展が開催されており、2025 年にはスペイン・バルセロナの FotoNostrum で「Bowie X Sukita」展が開催されています。

しかし、ロック・アイコンたちのポートレートは鋤田の膨大な作品群の一部にしか過ぎません。彼はキャリアを通して、ファッション、広告、映画関係に取り組む一方で、ドキュメント、ストーリー、風景、静物など様々なタイプのパーソナル・ワークとしての撮影にも取り組んできました。

- 1/4 -

6-20-29 Shimomeguro Meguro-Ku Tokyo, 153-0064

info@blitz-gallery.com tel 03-3714-0552

月火休廊、入場無料



戦後の50～60年代の初期作品では、戦後混乱期の地元福岡のストリート・シーンや長崎の原爆被爆者、原子力空母入港反対デモなどの社会問題をパーソナルな視点でモノクロ写真でドキュメントしています。

一方で60～80年代の初期ファッション写真では、広告の枠にとらわれない自由な発想の作品を制作。本展では初期作品の中から、この鋤田のあまり知られていない未発表を含むファッション写真を中心に紹介します。それらのシュールでカラフルなビジュアルは70年代初めにデヴィッド・ボウイを魅了し、二人の40年にも及び信頼関係を構築した原点となります。そして後にアルバム「Heroes」のジャケット写真につながっていくのです。

また本展では、鋤田作品の代名詞となるデヴィッド・ボウイ、マーク・ボラン、イギー・ポップら20世紀のロック・アイコンたちのポートレートを展示します。一部は、貴重なギャラリーでの未取り扱い作品で、今回初めてエ디션付きファインアート作品として販売されます。本展の展示作品数は、ファッションとロック・アイコンズを合わせて約30点を予定しています。また、鋤田作品を使った鋤田アーカイブス公認のオフィシャルグッズ（Tシャツ・トートバッグ）の販売も行う予定です。

鋤田はキャリアを回顧する写真集「SUKITA : ETERNITY」（2021年）の刊行以来、膨大な作品アーカイブスの本格的な調査を開始しています。今回の初期ファッション写真の展示はアーカイブスの調査結果を紹介する写真展の一環になり、2021年開催の「SUKITA : Rare & Unseen」展に続く第2弾となります。調査作業は現在も進行中です。今後、未発表のパーソナル・ワークの写真展も開催される見通しです。

ぜひご高覧いただくとともに、貴媒体においてのご紹介をよろしくお願いいたします。

以上



鋤田 正義

Masayoshi Sukita (1938 -)

福岡県直方市生まれ。日本写真映像専門学校卒業後、棚橋紫水に師事。大広、デルタモンドを経て、1970 年からフリーとして活躍しています。70 年代のはじめ、鋤田は気鋭の若者文化や音楽に惹かれニューヨークやロンドンを訪れます。1972 年の夏に T・レックスのマーク・ボランやデヴィッド・ボウイを撮影。以降、特にボウイと深い信頼関係を築き、彼を約 40 年にわたり撮り続けました。代表作にアルバム「ヒーローズ」(1977 年) のカバー作品があります。

鋤田のボウイ作品は、2013 年にスタートしたヴィクトリア & アルバート美術館企画で、世界中で約 200 万人の観客を動員した「DAVID BOWIE is」展でも展示されました。その他、ドキュメンタリー、ファッション、広告、映画、音楽まで幅広い分野で撮影を行っています。

近年は、海外主要都市で写真展開催が相次いでいます。特にイタリアでの人気が高く、ラスペツィア (2016 年)、バーリ (2017 年)、フィレンツェ (2019 年)、サレルノ (2020 年)、パレルモ (2020-2021 年)、またスウェーデンのストックホルム (2023 年) などで大規模な美術館展を開催しています。またドイツのベルリンでは 2017 年にボウイ「ヒーローズ」の LP リリース 40 周年記念写真展を開催。2019 年には、オーストラリアのシドニーで開催された写真に特化したアートフェア「Head On Photo Festival」に招待作家として参加、2025 年にはスペイン・バルセロナの FotoNostrum で「Bowie X Sukita」展が開催されています。

日本での美術館展は、「Sound & Vision」(2012 年、東京都写真美術館)、「Flashback!」(2015 年、箱根の森美術館)、「鋤田正義写真展 ただいま。」(2018 年、直方谷尾美術館)、「鋤田正義写真展 in 大分 2019」(2019 年、大分市アートプラザ)、「時間～TIME 鋤田正義写真展」(2021 年、美術館「えき」KYOTO) などがあります。2018 年、鋤田の軌跡をたどるドキュメンタリー映画「SUKITA 刻まれたアーティストたちの一瞬」が公開。2021 年、待望の回顧写真集「SUKITA : ETERNITY」がイギリスの ACC ART BOOKS と玄光社から世界同時発売。2022 年 9 月 (日本では 2023 年 3 月) に劇場公開された、ブレット・モーゲン監督によるデヴィッド・ボウイの長編ドキュメンタリー映画「ムーンエイジ・デイドリーム」のポスターに鋤田撮影のボウイ作品が採用されています。近年の国内外の美術館展開催や回顧写真集刊行をはじめとする幅広い活動により、いま鋤田のキャリアの本格的再評価がアート界で始まっています。

鋤田は今年で 87 歳になりました。今後は特に九州の「水」にこだわった作品に取り組みたいとの意欲に溢れています。

展示作品画像



No.1 "Jazz #3, 1969"
© Sukita © Delta Monde



No.2 "Motion Blur series #3, 1960's"
© Sukita



No.3 "Motion Blur series #1, 1960's"
© Sukita



No.4 "Vivienne, 1974"
© Sukita



No. 5 "David Bowie, 2002"
© Sukita



No.6 "David Bowie, 1973"
© Sukita